磐城新聞（五日夕刊）
休刊　大祭日第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料　二行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　逆沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

今年度追加豫算と上水道案上程
併せて縣税附加課税も けふ平町々會

平町會は五日午前十時より開會し傳染病院建築費起債變更の件並に本年度追加歳入出豫算四十五萬四千九百九十五圓、平町上水道擴張工費々縣費補助申請の件、小學校基本財産運用の件、縣税營業税追加不拘一課税の件、平商業學校教諭心得恩賜慰勞金贈呈の件を附議したが上水道擴張工事費は總額三十七萬圓にして内二十萬圓を町起債とし九萬圓の國庫補助、七萬二千圓縣補助外一般繰入八千圓である

見込みのない 丹後澤公園
町當局の意嚮

平町有識者間に過般來より松ケ岡以外の公園設置を叫ばれてゐるが最近御大典記念事業の一つとして現在の丹後澤を公園地に指定し昔を偲ぶ古城の跡と共に第二の公園たらしめんと城山方面の有志家が奔走極力實現を力說してゐるが町當局も北部に公園を設けるといふことは多年の懸案でありまた町民の衛生上、町發展上緊急であるから或ひは有志の奔走と相まつて早晩具体化するではないかと一般から見られてゐるが右につき平町當局は語る

丹後澤附近は自然の美を備へた上築城の跡に昔の面影がこもつてゐて如何にも公園には適したところであるが然し篤志家でも現れぬ限り現在の財政では公園設置は一寸困難かと思はれる云々と

短歌
石黒一郎

淋しかり合はた山の頂
夕べの鐘の鳴り出でけり
名も知らぬ鳥啼き啼き
あかあかと秋の夕べの陽
流るなり
かく迄も淋しき別れなき
君を恨んでも暮れぬ春の夕
べは
くれないの花びらむしり
取りて見ぬ唯わけもなく
淋しき故に
野の面を低く這ひ行く紫
の煙の中に思へ出すことも
まじろなるフリヂャの花
[illegible]
ふなびけり
一とつかみ投げ入れにすゝき色の嗜へてわ見たり
淋しき夕べ
なせ人は孤獨となるか夜すがら考ふる夜の眠らざるも
なげきつゝいつかわ知らずふるさとの事夢に見き
秋の夜の更けて物語り秘めしと言へる池のあたりたゞづみて淋しき池
空の果て見れど見わせぬ涯りまさぬ君の幻退より
夕べなり
思ひ出の[illegible]衣を身にまとへど[illegible]
身此の胸すがしさを此のフリヂャに唯戀うて机に座して先ず思ふなり
止めがたき力にからわれびて行く若き心の暮秋の夕べ
暮れ行く秋の佗しの君の心へ偲びて歌の捨書
灰色の吾が心たる秋の野の灰色見わ佗しかる
[illegible]
秋の新川べりを歩む[illegible]
酒少し過ぎぬと言へて吾が枕の下に眠れる人の[illegible]

二百七十萬を數へる 平町の所得額
一戸平均五百八十圓 町役場査定終る

平町では昭和三年度三萬町民の所得額並びに町內所在田畑宅地及びこれに賦課税額を調査中のところこの程終了を見たこれによると町民の所得總額は二百七十萬二千五百五十圓でこれを所得者一人平均にすると百八十四圓四十六錢で更に一戸平均にすると五百八十三圓二十九錢となるなほ町內にある私有畑は七十二町九段田百十八町四段宅地十九萬八千九百四十四坪でこれ等田畑に賦課する額は一萬六千九百二十圓であると

郡下卅四ケ村 坪刈成績
平均多少減少

石城郡農會では過般から郡內渡邊村外九ケ村の水稲坪刈を行つたがその結果は前年に比し量目とも多少減收の傾向にあるが品質は却て良好なる村もあり近く乾燥調製の上審査をなす筈であるがその結果優良者には賞状を授與する[illegible]五日頃までに郡下三十四ケ町村の坪刈をなすと

石城民政黨 內閣糾彈
近く演說會

石城民政黨では現內閣を糾彈し對時局演說會を御大禮直後に於て一先づその一聲を平町外二箇所に於て擧げることゝなり比佐代議士の應援辯士の交渉中であつたがその結果永井柳太郎氏始め中央の名士數名參列し二十五日から三十日までの間に於て二日間を選定開催することに決定した

平町婦人會發會
會長に青沼セイ子女史 加入者三百餘名

既報平町の御大典記念事業の一つとして伏見平町小學校長發起の下に計劃中であつた平町婦人會は各町から發起人を擧げ會員の募集中であつたが約五百名の加入者が出來たので三日午前十一時から平町第二小學校講堂に於て盛大な發會式を擧行した、出席者三百餘名、定刻伏見町長開會の辭を述べ次いで佐藤第二校長同會の創立經過報告をなし終つて各種事項の協議があつて午後三時閉會續いて塚本女史が生活改善に關する施設の題の下に約一時間の講演があつて同四時盛會裡に散會したが役員は會長青沼セイ子、副會長は木村カツ外二名にして常任幹事各町方部委員各若干名は會長副會長に於て指名の筈である

市場の改善
平町で內容調査

平町における各市場は非常に增加したのでその內容の如何は、需用者、出荷者に直接影響を與へるので平町では市場の內容調査を開始したその結果內容の不確實なものに對しては徹底的內容の改善をせしむる方針であると

早川清久氏當選
役員選擧で賑つた 濱三郡木炭組合

濱三郡木炭同業組合秋季總會は三日午前十一時から元石城郡衙に開會昭和二年度の決算承認、三年度豫算追加の件を審議したが追加豫算については論議百出し容易に決せず四日午前十時から引續いて再開審議し原案通り可決午後一時から役員選擧に移り選擧の結果左諸氏當選した

△組合長早川清久△第一支部長草野米彌△第二支部長久保田清△第三支部長鹽谷應升△評議員、第一支部（石城）下山田浩一、綠川信之助、大里重九、白土兩松、川村源一、佐藤米藏、同第二支部（雙葉）高原辰藏、鯨岡義助、大起三吉植田銀之、同第三支部（相馬）高橋芳松、折笠源義、齋藤守重、荒竹次郎、佐藤傳信

平署管內の 召集兵
豫後備五三名

本年度陸軍特別勤務演習は來る十二月四日より召集されるが平警察署管內の召集兵は豫備は大正十三年徵募兵後備は大正六年徵募兵で合計五十三名に達すると

聯合農產品評

石城郡遠野、上遠野兩村聯合農產製作物品評會は來る十七日から入遠野小學校講堂に於いて開催し出品は郡農會技師出張審査する由

詩

美し
砂漠
砂漠だ
砂漠だ
人の砂漠だ
こんなに
數かぎりない人が
居りながら
心をうちあけて
語[illegible]
たゞた一人
友もない
砂漠だ
人の砂漠だ
（完）

講談 幕末秘帖 狂怒乱心 (83)
渡邊默禪作　宮野歌春畫

お君は半日の對話に膝一つくづさずきちんと正しくしてゐる雪江のつゝましやかなのに感心の意を表するとともに、その優しい物言と同情の深いのとに、何となく嬉しく懐しいやうな氣がした。

「ほんとに私、お恥しくてなりませんの、皆さまへお眼に懸るのもきまりが惡うございますから、是なりお暇を戴かうかと思ひますけど……」

とお君はふしめになつて考へて。

「ア、如何したら宜しいでせうね嬢さま」

と迷つてゐるらしく見えた。

「左樣でございますねえ」

と雪江もちよつと當惑して

「兄を呼んで來て相談いたしませうか」

「おら、いやですよ、若旦那にこんなことを聞かれたら大變ですわ」と叫ぶやうに云つて、はつと我のはしたないのに氣がついた。

雪江はその心を想ひやつ

「兄にお逢ひになるのがおいやならば、アノこういたしませう、私が富松を呼んだ上で、よう〳〵仔細を尋ねて見て、それからお家へお歸りになられるやう、何とか私がね、お計ひ申して見ようではございませんか」

世馴れぬ婦人としては是だけの智慧が相應、差向き好い方法も思ひ浮かばぬのであつた。

「どうぞ、宜しくお願ひ申します」

お君はお辭儀。

「それまでの所、御究窟でせうが、手前の宅にゐらつしやいましな、私も淋しくつてゐる所でございますから、あなたがゐらつしつてくだされば、まアどんなに嬉しいでせう」

と雪江は取寄せた菓物をむいてすゝめる

「こんながさつものでございますから不調法勝でございませうけども、どうぞねお嬢さまお歎のかはりだと思し召して」

「あら、飛んだことを……私はお友人のつもりで居りますのに、オホ……」

かくして二人の交情は密の如くに熱して來た

「アノ妙なことを伺ひますが」

とお君は新たに問題を提へて

「お嬢さまは、小川町邊のお屋敷にお上りなすつてらしつたさうでございますね」

「はい」

「是は昨晩ちよいと聞き申し兼ねた話ですが、何ぞ譯があんなすつてお尼さまに……」

と言淀んで

「オホ、失禮ですはね、そんな事が全くおあんなさるんですか」

雪江は俯いた、見るから顏が曇つて瞬きした。お君は聞かぬ先から氣の毒になつて、照隱しのやうな太息を吐く。

「ほんとでございますの」

雪江は浮立たぬ顏をあげて

「尼にならうと思つてた屋敷を駈出したんでございますが、何處に參つたならツノ尼になれるものやら一向勝手が知れないので、以前手前の宅に居りました乳母がね只今は芝で商ひをしてゐますからそれを尋ねて相談をしたところが、まア飛んでもないことを爲なさるつてね、直と兄の方へ內通をしたのでございますよ」

明日の吉凶
舊曆九月二十四日　新曆十一月六日

▲一白　人の爲に勞して却て怨みを受くる注意日▲二黒　獨斷專行に誤りを生じ易し目上に問て吉▲三碧　運途壯に見へても實益には緣薄し金談凶▲四綠　誠意を盡しても先方ではそれ丈に認めざる日▲五黃　進んで事を謀る時は敵を求む虞あり注意▲六白　氣を腐らさず本業大切に守れば吉日となる▲七赤　何事も徐々進みて秩序あるに吉入學尤も吉▲八白　前途の見込みに迷ひを生ずる日飲食を注意▲九紫　運氣上吉にて少しは無理と思ひし事もとほる

上田外科醫院

菊花大會
◇場所　平町元郡役所脇
◇日時　十一月三日開場
菊人形陳列
平菊會

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの

藤沼醫院
內科、小兒科　花柳病科　入院應需
平町紺屋町　電話番號五〇七番

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

御大典記念景品抽籤付特賣
空前絕後の犧牲的奉仕
十月廿日ヨリ十一月九日迄
▽……此の好機會を逸す勿れ
特賣品目　時計貴金屬、裝身具、蓄音器
抽籤券　御買上拾圓毎に一枚添へます　御買上拾圓以下の御客樣にも洩れなく景品進呈　抽籤券は貳百本を以て一組とし（いろは）各組に通用致します。
特賣期間　十月廿日ヨリ　十一月九日迄
抽籤及場所　磐城新聞社に於て在平新聞記者有志立合の上施行す。
抽籤日時　十一月十日
當選發表　十一月十一日磐城新聞紙上及一切各位へ通知す。
景品引換　景品は抽籤發表後一ケ月以內に抽籤券引替に差上ます。

景品　貳百本壹組の內容

一等	勸業債券額面拾圓	一枚宛	四本
二等	復興債券額面五圓	一枚宛	八本
三等	精工舍製硝子置時計	一ケ宛	貳拾本
四等	上等メリンス風呂敷	一枚宛	殘全部

一本も空籤なし

平釜屋商店前五丁目　金光堂時計店　電話七三六番

カマボコ
原料精選—品質佳良
特別廉價—配達迅速
多少に拘はらず御用命願上げます
電話八二七番
鮮魚仕出　吉田かまぼこ店
平町田町大通り

入山、古河の合同競技會
三日秋晴れの磐中校庭で
優勝カップは入山の手に

勞本町入山炭礦と好間村古河炭礦とが從業員の親睦を目的に計劃し豫ねてより準備中の合同陸上大競技會は既報の如く三日午前九時より磐中グランドに於て擧行された、無造はれの背の天候にカラリと晴れた秋晴れの運動日和にて定刻平舘特派の樂隊が奏する勇ましき伸に兩炭礦選手の入場式、り會長下野十朗氏の開辭、審判長唐土磐中校長の注意あつて直ちに競技の幕は切つて落され兩炭礦の應援團各數百名は熱心に然かも嚴肅裡に各自應援歌を以て氣勢を添ひ非常な盛況裡に午後四時閉會したが各競技結果左の如し

△一百米 一、西田（入山）二、猪狩（古河）三、石井（古河）
△二百米 一、西田（入山）二、矢内（古河）三、石井（古河）
△四百米 一、泉（古河）二、石井（古河）三、大槻（古河）
△八百米 一、泉（古河）二、伊川（入山）三、田村（入山）
△一千五百米 一、泉（古河）二、田村（入山）三、草野（古河）
△五千米 一、草野（古河）二、熊谷（入山）三、高萩（古河）
△一千六百米リレー 古河組 二入山組
△一千六百メドレーリレー 一、入山組二、古河組
△走巾跳 一、佐藤（入山）二、福田（入山）三、宮本（入山）
△走高跳 一、佐藤（入山）二、宮本（入山）三、片野（古河）
△ホースジャンプ 一、佐藤（入山）二、西田（入山）三、安齋（古河）
△砲丸投 一、鈴木（入山）二、淺井（古河）三、福田（入山）
△劍道高點試合 一等六點野田素（古河）二等四點庄司平三郎（入山）三等三點安孫子六之助（入山）同高橋秀市（古河）四等二點志賀隆男（古河）五等一點高橋長兵工（入山）
△劍道三本勝負（古河）○○大將野田 ○副將淸野 ○志賀 ○○高橋 小林（入山）大將庄司 ○○副將安孫子 ○○大内 ○高橋 ○○渡邊
△銃劍術三本勝負（古河）○○太田 ○○阿部 ○○古市 ○松本 井上（入山）○藤田 ○貞山 ○橋本 ○○流老根 ○○齋藤
△高點試合 一等（古カワ）阿部喜代治五點 二等（入山）橋本周藏 三等（入山）齋藤直衛四點

而して採點の結果平町有志の寄贈に係る優勝カップは入山の手に歸した

六十の坂を越して 職を求める人
憐れな失職者も多い
平紹介所の昨今

平職業紹介所は大正十三年に創立以來四ヶ年昭和二年迄に於ける成績を統計に現して見ると、求人數は一千九百九十名、求職者數は千四百五十四名で、求人申込が四ヶ年を通じて一番多かつたのは大正十四年であつた、一千四百餘名の求職者の內紹介所の紹介狀を交付した者は一千八十六名で此の中就職出來た者は八百十六名で求職者に對する就職割合は五十七パーセントになつてゐるが、就職別にして見ると一番多いのは商業方面で次は土木建築、工場、戶内使用雜業、農業の順で商業は全部で五十パーセントを占めてゐる尙は此の就職者の年齡を調べて見ると最低は十三歲の少年から最高は六十三歲の老人迄で あるが一番多いのは矢張二十歲以上三十歲迄の働き盛りのもので殊に二十四五歲の者が一番多い、同紹介所は此の統計を基本として求人、求職に對する調査をなし職業紹介の好成績をあげるべく努める由である

平局記念募集 好績
責任額を突破

平町郵便局では御大典記念事業として去月一日から保險年金の募集を開始し相當の成績をあげてゐるが目下のところでは郡山局の次位にあるので郡山局を追ひ越すべく一日から更に馬力をかけはじめたが十月末までの募集成績は年金責任額四千三百三十二圓中千九百二十七圓保險八百九十一圓中千二百一圓で保險は既に責任額を超過すること三百十圓といふ好成績を示して居る

平町大舘地內に 新堅坑を開鑿
千五百戸の長屋を建て
古河炭礦の計劃

好間村古河炭礦は去る大正十五年九月出水の爲め一朝にして廢坑、己なきに至つたがその後更生策として坑道を開鑿再び東洋一を誇る大炭坑建設を目論み長屋建設についても既に測量も了したと傳へられてゐるが

舊堅坑の 蹟に斜坑を開鑿三百餘名の坑夫を使役し日夜作業に從事した結果最近に至り漸く復舊し出炭能率も磐城入山に次ぐ狀態に置かれて來たので更に一歩をすゝめるため東京本社に於ては堅坑排水策として第二鑛業所を平町大字大舘地內に置き同地に三百棟千五百戸の坑夫長屋を建造し大舘及び現堅坑の二方面に向つて財界不況の折同社が千五百戸の長屋を建設し更に鑛業所を平町に置くといふことは疲弊し切つてゐる平町方面に一大センセーションを與へるものとして町民は期待してゐる

女工を誘惑
平町で御用

驛前を三日夜十時ごろ徘徊してゐる若い男女の行動が不審なので平署員が引致取調べると男は郡山市日東紡績第一工場の職工石城郡永戸村生れ阿部春秋（二三）で去月二十七日同工場の女工石城郡御館村生れ青木きみ（二八）を誘拐東京方面に驅落したが思はしい就職口もないので北海道方面に高飛びしようと平町に來た處を押取へられたものである

中學辯論大會
四日磐中講室で

石城、相馬、双葉、田村、安積五中學校聯合雄辯大會は四日午前九時から磐中講堂に開催されたが盛會を極めた

紙面の改革に就て

本社は記事面の擴張と廣告欄の活用の目的を以て從來の編輯に改革を加へ一面に五段の記事を掲載し二面にも廣告欄を設け廣告の效果をより一層大ならしめる事にいたしました。

磐城新聞社

研究講座
私の註文が一個
磐中 山崎丘峯

△日本はすばらしい勢ひで外國化の油を注がれてゐる。物質的にも思想的にも私はすべての外國化を排擊するほど偏狹な日本主義者でない。今、若い時を擬りかへると無批判的の外國かぶれの頃もあつたやうな氣もするが、もう今ではなか〳〵だまされなくなつた固有名詞で外國化の代表的なものに「日本アルプス」で「日本ライン」がある。この名稱は次第に私の不滿をおびき出して來た。單なる名稱か、問題にすべきでないと云へばそれまでだが私にはこれは邪道の外國化であり問題とする價値があるのだ。「日本ライン」は死んだ志賀重昂氏あたりが名付け親だと聞いてゐるが或は私の思違ひで却て志賀氏がその名稱を驅驟したのかもしれない「日本アルプス」の名付け親は全く私は知らないいづれにせよ最初の名付け親はある筈だが、山の名はバタ臭、するとはその不見識を憤慨するより寧ろ滑稽さにあきれる。鐵道省のポスターにも平氣で是等の名稱を使用してゐる外國人が見たら悲慘な滑稽さを感じるだらう。

この二つの名稱は本物を讃仰するあまり意識的に與へられたものに違ひない。もし意識的でなくば、そこに潛在意識の肯定を確認する。勿論讃美渴仰そのものは差支ない、それを私は排擊一蹴するではなく、ただ日本固有の名稱が嚴然と存在してゐるのに強いてバタ臭い名稱に變へる必要が何處にあるのだと云ひたいのだ。もし日本固有の名稱で妥當でなければ、それを日本的に更改すればいいそれも名前のないものならそれに日本的な名稱を賦與すればいい、あの高峻な信濃山系を總稱する何か表象的な名前を短い言葉で最も妥當に付けられないと云ふ事はあるまい。

「日本ライン」は「木曾川」（これは或は私の誤りかもしれないが）と云ふ立派な名稱があるではないか。「日本ライン」なぞ云ふ言葉は近頃まで私は知らなかつた。その無智で私は恥をかいたとは少しも思つてゐない。恐らく一般民衆は知らない方が多からう。「木曾川」の方が遙に一般的だと思ふから。それを好んでバタ臭い名稱に新生さす努力は全く愚の骨頂である。外國化の盲目的偶像的崇拜だ。

ムッソリーニ型の人間が「日本ムッソリーニ」トルストイ型の人間が「日本トルストイ」と本氣で戸籍面の本名を改變したなら、實に悲慘な滑稽ではないか。山水草木に戸籍謄本がないから人間が勝手に其名を變へれる。しかし山河に口がない。自分の名に不滿でも泣き寢入りだ。それを見込んで山靈河魂を蹂躙するのはあまりに冒瀆であり暴歷である。最も簡單に呼び易い點から殆んど純然たる日本語に變じた普通名詞の外國語は澤山あらう。逆に日本語の外國に浸入して外國語に變じてゐるのも少くはあるまい。

これらは盲目的な讃仰とか崇拜とかから來てゐるのではなく單に便宜の點から來てゐるものと見て差支へない。かうした普通名詞の外國化なら、私はあまり氣にもしないがそれが固有名詞になるとどうも氣になる私は固有名詞の外國化は斷じて必要でないどころか斷じて排擊する。いかに本物のアルプスに似てゐやうともいかに本物のラインに似てゐやうとも古來よりの名稱は飽まで尊重しその個性を發揮させたいものだ

金貸しの恩人を 戀仇と感違ひ
乾分の鮮人を使つて
平驛前で袋叩き

石城郡內鄉村大字宮磐城炭礦鮮人坑夫完容金事山田伊三郎（五〇）內緣妻新潟縣生れ稻月たみ（四八）は夫の慘虐に居堪まらず四日朝夫婦喧嘩の末長女きみい（一八）を連れ家出したが之れを聞へた同村宮生物販賣商鈴木辨治（五二）はたみに二百五十餘圓の貸金ある爲め兩人を平驛前迄で追つて來た處同じく同人の後を追跡して來た伊三郎の子分である同炭礦坑夫鮮人李請奎（三六）が右辨治とたみの兩名の姿を見るや矢庭に棍棒を以つて慘々に毆打傷害を加へたので平署に告訴され嚴重取調べ中であるが犯行の原因は辨治とたみは兼てより醜關係あるを嫉視して居た伊三郎は戀仇た、辨治を不具者たらしめんとの恐ろしい野心を抱き子分の請奎に長女きみを與へる事を約し請奎は命せらるゝまゝに辨治をこらしめんとして居た矢先き前記三名の姿を發見驅落

公告

東京市京橋區北槙町一八
日信株式會社
滯納者
明治四十年四月二日
福島縣採堀登錄第百號
福島縣赤井村地內
一、石炭鑛區 五萬參百貳拾貳坪 採堀鑛業權
明治四十一年五月一日
福島縣採堀登錄第百參拾五號
一、石炭鑛區 八萬四千七百九拾六坪 採堀鑛業權
東京市京橋區本八丁堀北櫻河岸二ノ二
中野炭礦株式會社
滯納者
明治四十三年五月廿六日
福島縣採堀登錄第百九拾貳號
福島縣勿來町川部村地內
一、石炭鑛區 參拾貳萬四千貳百貳拾四坪 採堀鑛業權
右國稅滯納ニ付前記財產權昭和三年十一月廿六日午前十一時平稅務署ニ於テ入札ヲ以テ公賣ニ付ス買受望ノ向ハ當署ニ就キ詳細承合ノ上入札ヲナスベシ
昭和三年十一月五日
平稅務署長

怪しい少年
平署の網に掛る

平驛前を二日午後十一時三十分頃徘徊してゐる年齡十五六才の少年の學動が不審なので署員が引致して取調た處草野村字新田生れ美本三吉（一六假名）といふ窃盜常習の少年でこれまでも數回四倉署に檢擧されたことのある札付きと判明したが懷中に十數圓の現金を所持してゐるので引續き窃盜嫌疑で取調中

害虫驅除
活動寫眞で
郡養蠶同業で

石城郡養蠶同業組合では害蟲驅除並に蠶業の改善に就て目下種々考究中であつたが桑園の害蟲驅除は最も先決問題として近く日割を作り郡下各町村全部に害蟲驅除を行ふことになつたが同時に農閑期の適當な時期を選定して活動寫眞と講演とを以て各町村部落を巡回することゝなつた

三井炭礦で 五名を馘首
騷ぎは起らぬ

石城郡磐崎村三井炭礦では三日附老朽坑夫五名を解雇したが日勞黨磐城支部では炭礦界未曾有の不況に直面してゐる現在たとひ老朽になつても解雇は不穩當であるといきまいてゐるが會社側では手當金も充分やつてゐるのだから問題など起るまいと

出炭制限を嚴重に 目的逐行に努力
石炭の需要期を前に
活氣つく常磐炭

常磐七大炭礦協議會は去月卅一日東京工業俱樂部に於て開催、過般各炭礦理事會に於て協議決定した炭價の引上げ策としての出炭制限並に送炭制限の可否に付き協議を遂げ、當時は各炭礦共理事會の決議に異論なかつたのであるがその後ひそかに送炭を繼續して居るものもあるので理事會の決議は有名無實に等しいものである故に右理事會の決議を如何にするかと云ふ重大問題に付き協議をしたがその可否に就ては更に理事會に於て決定することになつたが石炭の需用期に入つた今日直にその可否が決定されるか否かは注目されるところで各炭礦とも需要期を控へて大多忙を極めてゐる

熊野社の選擧

錦村縣社熊野神社々惣代選擧は此のほど執行したが金本源右工門、星勝助の二氏當選した

錦村消防協議

錦村消防組幹部會は同村役場內に開催御大典記念事業の打合、無火災實現のための夜警、山田駐在巡査の新任挨拶其他あつて散會した

かみくづ

◆物は日ようきネ、そりゃ伊達卷一ツで女中が座敷に出た、は不都合だと言へば、それは當然の理屈ぢやないか、だがね、そこに遠慮のない親しみがあるからで、知らないた客ならイクラそう言はれても出やしないよ◆ソンナ君のように人を輕蔑してるなんて怒るのは野暮だよ、藝者だつて其まゝと言はれて羽織かけで「アラた久しいのね」とニッコリされゝば「君はグンニャリするだらう◆長襦袢で藝者の相場が違ふほど、チャーミングなものだ、それを伊達卷一つでた尻の肉體美を見せてくれたのは大いに感謝して可なりサ、キットなんだ、せ君に感物を捧げるつもりだつたのだぜ、

[illegible]

當山三十九世渡邊則成和尙十月廿二日遷化ノ處來ル七日午後三時本葬仕リ候
尙同夫人雄子去ル二十日死亡致シ候ニ付キ同七日午後一時葬儀執行可仕乍略儀併而御通知申上候 敬具
十一月五日
平町 性源寺
遺弟 穴戸正則
法類總代 鮫島素雄
遺子 渡邊則雄
御類總代 森 文雄
檀徒總代 一同

天丼。親子丼。
鍋燒うどん。
牛めし、きそば。
しるこ。
例年の通り大々勉強致します、是非御贔負願ひます。
平町二丁目（電話三一九番）
みだいや
營 本富次郎

松島名産
カキ貝御料理
カキフライ 品
カキなべ 々
ス 貝
洋式宴會 仕出し
平町田町
一の井
電一六七番

伊勢參宮 京都紫宸殿拜觀 奈良巡拜 遊覽團體募集
▽會期 明春貳月貳拾日
▽會費 廿九圓五拾錢
但し（申込と同時に金五圓を納入し殘額は二月迄五回に分納の事）
▽人員 貳百名の豫定
▽申込 事務所尼子亭
―通信班及び救護班を設く―
即刻申込まれよ!
募集期間中と雖も滿員の際は締切り候（詳細は事務所に問合され度し）
主催者 尼子亭 吉田直之助
會計監督 山崎淸三
會計 志賀盛榮
贊助員 平驛長 豐崎治助
後援 常磐毎日新聞社 磐城新聞社 磐城時報社
事務所 尼子亭
松ヶ岡公園內（電話二三〇番）